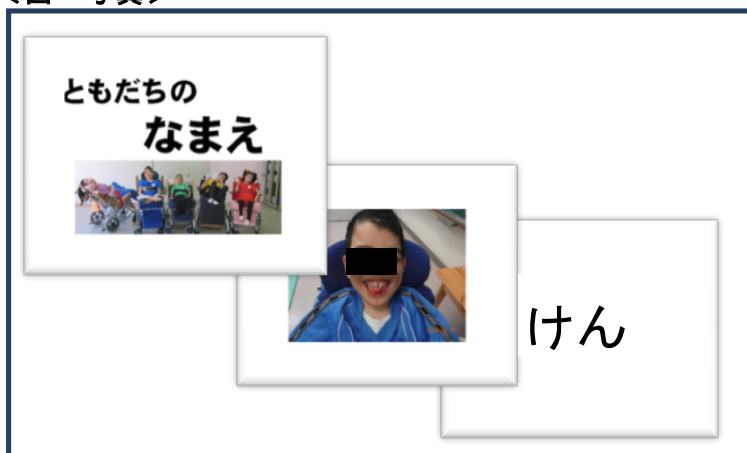


主な使用場面・領域・教科等： 自立活動

### <図・写真>



### <材料・製作方法等>

- プレゼンテーションソフト「パワーポイント」で画像や音声を編集する。

### <ねらい>

- 指や手首を動かすことで、スイッチ操作を行い、パソコンの画面を切り替えることができる。
- 音声を聞いて身の周りの人を想起したり、画像や文字を見て名前を確認したりすることができる。

### <指導方法・留意点等>

- パソコンと対象児の手の位置や姿勢等調整しながら行う。
- 「誰の声か」、「名前」などの正解を単に導き出すのではなく、その過程を丁寧に言葉や視線によるやり取りを十分に行う。

### <指導経過・成果・課題・展望等>

#### 【指導経過等】

- ・ 初めは、手指の動きを引き出すため、iPadのさまざまなアプリを使用していた。対象児が興味を持つものも多かったが、手指の動きとともに、身近な人や物、事柄についても学んでほしいという願いとパソコンの方が画面が大きいことから、この教材を製作した。
- ・ 元々本人や写真カード等を見て、教師が挙げる名前の選択肢について、声や視線等で、「yes」「no」を表現することができ、小学部の児童については、名前と顔が一致していた。音声がかかることで、より興味を持ち、集中して学習に取り組むようになった。
- ・ やまびこのPT、OTの方による事業参観の際、スイッチ等と手の位置をアドバイスしていただき、クッション等を組み合わせて、望ましい高さや角度を作っていた。

#### 【展望】

- 今後製作したいもの：
  - ・ 座位保持上でスイッチ等の操作時専用のクッション
  - ・ 本人専用のスイッチ（ビッグスイッチに代わるもの・「yes」「no」の意思を表現できるもの）
  - ・ その他の身の周りの人・もの・事柄に関する教材
- 対象児の姿
  - ・ 手指を使った操作をしながらさまざまな人やもの、事柄について知ったり、教師とやり取りをしたりする。
  - ・ 自分の意思が相手に正確に伝わることの便利さを知り、さまざまな方法で伝えようとする。

